



げんきな子 がんばる子 やさしい子

# 園だより

5月号

 北区立さくらだこども園  
 園長 西澤 尚子

## 基本的な生活習慣＝人として生きていく基本となる力⇒自立

入園・進級から約1ヶ月経ち、ゴールデンウィークを控える時期になりました。気温は高くなってきましたが、爽やかさも感じられて、園庭では半袖姿で思い切り体を動かして遊ぶ幼児が多くなってきました。

さくらだこども園は今年度、4月に30名の4歳児が入園しました。こども園になってから、4月は3歳児の入園受け入れにあたふたしていたのが嘘のような、穏やかな4月を過ごしました。一番の違いは、新入園児に4歳児としての生活習慣が身に付いているということです。手を洗う、靴の脱ぎ履きをする、自分の物の置き場所を覚えて自分で出し入れする、トイレに行く、食事をする、服の着脱をする、などです。入園した幼児にとって、こども園での手順や場所はそれまでの生活とは違うものですが「すること」は変わらないので、身に付いていることをそのまま行動に移せば生活に支障がありません。新しい場所でも自分のできることを今まで通りにすればよいと思えるのは幼児自身にとっての安心なのだと思います。生活することへの安心感は、そのまま安心して遊ぶ様子につながっています。改めて、生活する力が身に付いていることは、新しい環境に身を置いたときの安心や自信になるのだと感じました。

生活する力の基は幼児期、いえ、その前の乳児期からの積み重ねです。身の回りのことを自分でする、自分の力のできる、という思いは言い換えれば自立心です。幼児なりの自立心が子どもの中に育っていることが、新しい環境に身を置いても自分なりに周りに関わっていく意欲につながっているのだと思います。4歳児はさくらだこども園でもう、こいのぼり作り、リズム遊び、ピザ屋さんごっこほか、新しいいろいろな遊びを楽しんでいます。年長の5歳児は当番活動、グループでのこいのぼり作り、大型遊具を使っの遊び…と、友達と一緒に取り組む体験を積み重ねています。自分のできることを友達との関わりの中でも発揮できるように、幼児の集団であるこども園の生活ならではの機会をつくっています。

今年度もさくらだこども園では子どもたちの心と体がたくましくしなやかに育つように、園内研究や東京都すくわくプログラムに取り組みます。教職員も学び続け、子どもたちの人としての基礎を育む力を伸ばしていきます。そして、保護者の皆様と一緒に子どもたちの日々の積み重ねを見守り、成長を喜び合いたいと思っています。

### 今月の指導のめあて

- <4歳児>
  - ・安心する場や興味をもった遊びに、自分から関わって遊ぶことを楽しむ。
  - ・教師や友達と体を動かして遊んだり、学級みんなで過ごしたりする楽しさを感じる。
- <5歳児>
  - ・友達と関わる中で、自分の思いを表したり、相手の話を聞いたりしようとする。
  - ・友達と一緒に遊ぶことを楽しむ中で、思いきり体を動かす心地よさを感じる。
  - ・野菜や花を植えて育てたり、身近な虫や生き物と関わったりして自然に親しむ。

#### 【健康診断について】

4月から6月にかけて、内科、耳鼻科、歯科、眼科の健康診断を行います。心配なことがあり、園医に相談したい場合は、事前に担任にお知らせください。歯科以外は受診しないとプールに入れませんので体調を整え、受けられるようにしましょう。

欠席等の理由により、受診できなかった方は、後日受診していただきます。なお受診後、治療のお知らせを受け取った方は、早めに治療し治癒証明を園に出してください。

#### 【衣替えについて】

6月から衣替えになりますが、夏服はありませんので、衣替え以降は、園服なし、園帽着用になります。ただ、5月になると、暑い日もありますので、暑い日は、園服を着用しなくても構いません。